

ニカラグア内政・外交定期報告（2011年9月・10月）

2011年11月
在ニカラグア日本国大使館

1. 内政

(1) 次期大統領選挙関連（世論調査結果除く）

- (イ) 9月5日、最高選管はC e e l a（ラ米選挙専門家委員会）を選挙監視団に認定した。
- (ロ) 9月7日、最高選管はCNU（国家大学審議会）及びEUを選挙監視団に認定した。
- (ハ) 9月19日、各政党からの受票委員会の委員等の申請が締め切られた。
- (ニ) 9月20日、最高選管はCEDHECA（人権・市民権・自治権センター）を選挙監視団に認定した。逆に、カーターセンターが選挙監視に参加する条件として要求していた選挙監視規則（選挙同行規則）の破棄又は要求は認めないとした。また、マスコミは、リバスが当地米大使館の選挙監視への申請を却下したと報じた。
- (ホ) 9月27日、最高選管はOASを選挙監視団に認定した。
- (ヘ) 9月29日、最高選管委員長は、投票用紙が1枚になることを発表した。
- (ト) 10月5日、最高選管はHagamos Democraciaを選挙監視団に認定しないことを発表した。
- (チ) 10月11日、北部のヌエバ・セゴビア県サン・ファン・デ・リオ・ココにて、有権者証発給を求める市民らと警察の間で小競合いが発生し、市民等27人が逮捕された。
- (リ) 10月14日、カプートOAS選挙監視団長は、リバス最高選管委員長等と会合を持ち、選挙プロセス及びPLI-UNEグループの約50名の候補者資格剥奪の可能性に関する説明を求めた。

(2) 次期大統領選挙世論調査結果

(イ) 9月8日、Cid-Gallup社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

オルテガ候補（FSLN）	44%
ガデア候補（PLI-UNE）	32%
アレマン候補（PLC-PC）	13%
無回答	10%

(ロ) 9月30日、Cid-Gallup社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

オルテガ候補（FSLN）	45.8%
ガデア候補（PLI-UNE）	33.5%
アレマン候補（PLC-PC）	10.1%

(ハ) 10月12日、「EL 19 Digital」（ネット版政府公報紙）は、大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

オルテガ候補（FSLN）	58.5%
ガデア候補（PLI）	16.1%
アレマン候補（PLC）	12.3%
キニヨネス候補（ALN）	1.0%
支持を明確にしない	11.2%

(ニ) 10月18日、Opinion y Analisis社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。

オルテガ候補 (FSLN)	42%
アレマン候補 (PLC-PC)	25%
ガデア候補 (PLI-UNE)	12%
キニヨネス候補 (ALN)	1%
ゲバラ候補 (APRE)	0%
どの候補者にも投票しない	20%
(ホ) 10月20日、Cid-Gallup社は大統領選挙関連の世論調査結果を発表した。	
オルテガ候補 (FSLN)	48%
ガデア候補 (PLI-UNE)	30%
アレマン候補 (PLC-PC)	11%
無回答	10%

(3) その他

(イ) 9月2日、オルテガ大統領は国軍32周年記念に出席した。

(ロ) 9月5日、国家警察創設32周年記念式典が開催され、アミンタ・グラネラ現国家警察長官が再任された。

(ハ) 9月14日、オルテガ大統領夫妻及びオバンド枢機卿は、サンハシント戦155周年及び中米独立190年記念パレードに出席した。

(ニ) 10月5日、最高裁判所のアルバ・ルス・ラモス長官及びマルビン・アギラル副長官はそれぞれ同ポストに再選出された。

(ホ) 10月11日、独立自由党(PLI)内の4つの派閥の主導権を巡り内紛が拡大し、ビルヒリア・ゴドイ元PLI党首のグループが、最高裁へ党首選定手続きの不当性及び現執行部がこれまで下してきた決定の取り消しを求める申し立てを行った。

(ヘ) 10月12日、保守党(PC)の内紛に関して、最高選管は、アレハンドロ・ボラーニヨスを党首とする元執行部の正統性を認めた。

(ト) 10月16日、ビクトル・ボイタノ国会議員候補(ALN)は、8月15日のサント・ドミンゴ祭での発砲及びオルテガ大統領の子女の誘拐計画疑惑で逮捕された。

(チ) 10月17日、オルテガ大統領は、熱帯性低気圧による大雨被害に対する災害事態宣言を発令した。

(リ) 10月29日、オルテガ大統領は、熱帯性低気圧による大雨被害の緊急対策として3億5,860万コルドバを早急に準備する旨発表した。

2. 外交

(1) 9月6日、ニカラグア政府は、南オセチア政府よりナリム・コサエブ氏を次期駐ニカラグア大使とする信任状を受領したと発表した。

(2) 9月8日、アビレス国軍総司令官は、キューバのキント国軍副司令官を表敬訪問した。

(3) 9月16日、リトアニア政府は、リカルド・アルバラード氏を駐リトアニア・ニカラグア大使とする信任状を受領したと発表した。

(4) 9月22日、オルテガ大統領は、グアテマラ、スペイン、フランス、ベネズエラ各国政府より次期駐ニカラグア大使にかかる信任状を受領した。

(5) 9月28日、オルテガ大統領はインスルサOAS事務総長と会合を持ち、11月6

日に予定されている大統領等選挙及び昨今のラ米状勢について意見交換をした。

(6) 10月5日～7日まで、マナグアにて、第16回イベロアメリカ司法サミットの第2回準備会合が行われた。

(7) 10月6日、サントス外相はバチカン及びアルジェリアを公式訪問した。

(8) 10月24日及び25日、マナグアにて、第7回ペトロカリブ閣僚委員会が行われ、ニカラグアからはオルテガ大統領夫妻(閉会式のみ参加)、ラパチオリ・エネルギー鉱山大臣、ジェンスケ外務次官等が出席した。

(9) 10月25日、コロネル外務副大臣は、エルサルバドルで開催された熱帯性低気圧による大雨被害に関する緊急SICA首脳会合に出席した。

(10) 10月27日、コロネル外務副大臣は、当国訪問中のウルグアイのコンデ外務副大臣と会合を持った。

(11) 10月28日、日本は、熱帯性低気圧による大雨被害に対し、800万円相当の緊急援助物資(発電機、浄水器等)の供与を行った。

(12) 10月28日及び29日、サントス外相は、パラグアイで開催された第21回イベロアメリカ・サミットに出席した。